

病院経営分析ツールの導入により 情報の有効活用と業務の効率化を実現

福島第一病院では、当社が販売している医事会計システムを導入し、患者情報や診療情報、請求金額など病院経営に重要な情報を蓄積していますが、本システムが提供するものは、様式の決まった統計情報であり、時には手作業での集計も余儀なくされていました。当社が提案した「ヘルスコア DWH 病院経営分析ツール」導入により、情報の即時集計・分析と作業時間の大幅な短縮を可能にしました。今後は病院内での活用範囲と機能拡大を進めながら、介護などの領域でも業務の効率化を提案していきます。

保守体制とサポートの一元化を評価

社会医療法人福島厚生会 福島第一病院は、循環器科・心臓血管外科を中心とした地域医療の中核を担う、病床数240床の総合病院です。高齢者社会の到来に伴い、わが国では、病院・病床機能の役割分担・連携の推進や、地域包括ケア体制の整備などが進められています。福島第一病院でも、病気の治療だけにとどまらず、アンチエイジングドックや心臓血管ドックなど予防医療に注力しているほか、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所などを備えた複合施設や訪問看護ステーションを設置し、医療と介護の連携により、病気の治療から在宅への復帰、看取りまでの一貫支援体制を目指しています。

福島第一病院は、2013年12月に「ヘルスコアDWH病院経営分析ツール」を導入しました。2006年4月から当社の販売した医事会計システムが稼働し、診療報酬請求を行う傍ら、患者の基本情報や疾病情報、診療内容など、病院経営にとって重要な情報を長年蓄積してきました。膨大な病院情報を経営に生かすため、同病院ではIT管理室を設け、早くから経営分析に取り組んできました。経営層もデータ活用に非常に積極的で、医事会計システムの蓄積データを有効活用したいという要望は大きかったのです。

しかし、医事会計システムは、経営層からの診療報酬や請求内容のデータ提供依頼に対してはある程度スムーズに対応できたものの、疾病別データの検索・抽出への対応は、医事会計システムの仕様上、非常に難しいものがありました。

データ提供依頼に対し、統計データをテキストファイル形式で出力して、統合や並べ替えをしながら手作業で集計・分析を行っていました。そのため多くの時間と労力を費やす分析作業のシステム化が望まれていました。

こうした中で当社が提案したのが、病院経営分析ツールです。スムーズな導入に至った要因の1つは、現在使用している医事会計システムの保守体制を高く評価いただいていることです。救急医療を行う病院では、患者情報、診療情報を扱うシステムを停止することはできません。病院経営分析ツールは医事会計システムと保

守サポートが一元化され、24時間365日の保守体制が維持されるため、安心・安全を与えるポイントとなりました。

もう1点は、コストメリットです。今回導入したシステムは、一般的に医療機関に導入されている他社のBI (Business Intelligence) システムと同等の分析機能を持ちながら、3分の1以下のコストを実現しています。これは、当社の医事会計システムから無加工でデータを取り込めるため、採用に踏み切った大きな要因となりました。

迅速な集計と高い柔軟性により 作業時間を大幅に削減

病院経営分析ツールは、前述したように、当社の医事会計システムと連携できる点が最大の特徴です。

同病院では、医事会計システムから直接出力する月次統計とは別に、DWH (データウェアハウス) に医事会計システムのデータを蓄積し、再度集計する必要なくさまざまな情報を提供することができるようになりました。蓄積時点の患者情報、診療情報などを保持しているため、日々データが追加・修正される医事会計システムのデータベースに左右されることなく分析することができます。

また、月別稼働額実績表や医師別診療行為分析表などの標準12帳票を用意し、経営層や各部門へ定期的に情報を提供できます (図-1)。病院側で独自分析帳票を定義することも可能です。

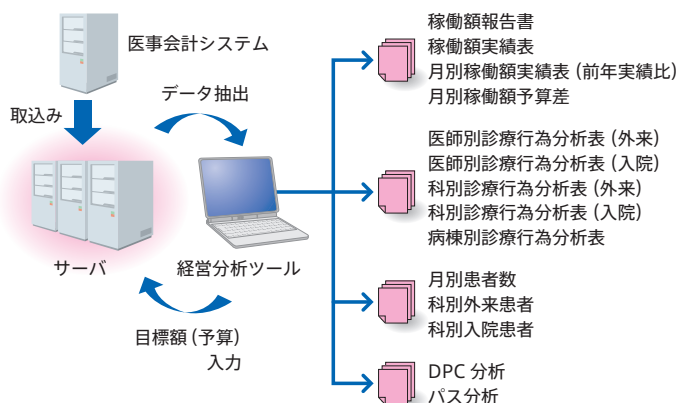


図-1 ヘルスコアDWH病院経営分析ツールの基本構成

表-1 医師別ドリルスルー（詳細データ表示機能）例

主治医名称	ユーザ番号	厚労省コード	品名	数量/使用量	点数	金額	診療科名称
東芝 1郎	130,091	113,001,010	外来栄養食事指導料	1	130	1,300	内科
東芝 2郎	130,091	113,001,010	外来栄養食事指導料	1	130	1,300	内科
東芝 3郎	130,301	180,016,110	診療情報提供料(1)	1	250	2,500	内科
東芝 5郎	130,301	180,016,110	診療情報提供料(1)	1	250	2,500	内科
東芝 8郎	971,300	101,120,030	再診時療養指導料	1	0	0	内科
東芝 10郎	971,300	101,120,030	再診時療養指導料	1	0	0	内科
東芝 12郎	991,363	120,002,370	薬剤情報提供料	1	10	100	内科
東芝 14郎	991,363	120,002,370	薬剤情報提供料	1	10	100	内科
東芝 15郎	991,363	120,002,370	薬剤情報提供料	1	10	100	内科
東芝 25郎	991,363	120,002,370	薬剤情報提供料	1	10	100	内科

表-2 医師別ドリルダウン（掘り下げ表示機能）例

科別診療項目別集計表		入外名称		外来						外来/合計			
		診療科名称		1内科		3外科		29放射線科					
診療項目	集計分類名称	主治医名称	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額			
13医学管理	手技	東芝 2郎									0	0	
		東芝 3郎					10,000	100,000	10,000	100,000			
		東芝 5郎				14,380	143,800			14,380	143,800		
		東芝 8郎									0	0	
		東芝 12郎	50	500							50	500	
		手技/合計		50	500	14,380	143,800	10,000	100,000	24,430	244,300		

		入外名称		入院						入院/合計		総合計			
		診療科名称		1内科		3外科		16麻酔科							
診療項目	集計分類名称	主治医名称	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	
13医学管理	手技	東芝 2郎	300	3,000			305	3,050	605	6,050	605	6,050			
		東芝 3郎									0	0	10,000	100,000	
		東芝 5郎			13,535	135,350	2,135	21,350	15,670	156,700	30,050	300,500			
		東芝 8郎					2,745	27,450	2,745	27,450	2,745	27,450			
		東芝 12郎								0	0	50	500		
		手技/合計		300	3,000	13,535	135,350	5,185	51,850	19,020	190,200	43,450	434,500		

かねてからの課題であった疾病別のデータ処理機能は、DWHに格納された患者傷病名と診療明細データを統合し、今まで手作業で行っていた分析作業が迅速に行えるようになり、今回最も高く評価されました。

分析帳票を提供した後、詳細な分析依頼が入ることもあります。集計元の明細データを参照するドリルスルー(表-1)、集計結果を掘り下げたい項目を追加して参照するドリルダウン(表-2)といった機能を活用することで、既存の分析結果を用いてさまざまな要望に応えることができるようになりました。

操作性については、Webブラウザ経由ではなく、あえてExcel形式のインターフェースを選んでいきます。Excelは病院内のPCへの導入率が高く、誰でも扱えて、データの二次利用も容易にできるためです。すでに利用している病院独自の報告書式に分析結果を貼り付けて加工することもできます。

介護領域での提案により活用拡大を支援

現在、同病院からは、原価管理を行いたいという要望が寄せられています。病院経営分析ツールのバージョンアップで機能追加が可能のため、早急に対応させていただく予定です。また、診療報酬改定で必要な分析・提出帳票定義をはじめ、病院側の要望に沿った機能を追加しながら、医事会計システム領域だけでなく、病院全体

の経営分析ツールとして、対応部門を拡充させていきたいと考えています。

2025年に向けて厚生労働省は「地域医療ビジョンによる病床機能の分化・再編」を掲げているほか、次期医療計画が策定される2018年の医療・介護同時改正までに病院機能の方向性を固める必要に迫られるなど、医療・介護を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした中、病院経営分析ツールが果たす役割は大きいものとなります。

当社は、ヘルスケア関連のトータルソリューションを強く意識しています。今後は、医療分野のみならず、介護分野でも経営分析システムを活用拡大できるように取り組んでまいります。

(ヘルスケア事業部 吉岡 雅幸)



■福島第一病院様からのコメント

以前は、医事会計システムを用いて情報の抽出、整理、分析、加工を行っており、そこから経営会議などで必要な情報をまとめていました。

しかし、その作業には非常に労力と時間を要しており、さらに、医師の疾患別データや、詳細な収益データ、各種シミュレーションに必要な情報などが求められる場面も増えてきました。そこで、医事会計システムの情報から、必要な情報を素早く抽出できる「病院経営分析ツール」を導入いたしました。将来的には、原価計算までを視野に入れて、貴社と相談しながら進めていきたいと考えております。

福島第一病院 概要

施設名：社会医療法人福島厚生会 福島第一病院
 設立：1952年8月
 理事長：星野 俊一
 院長：千葉 勝実
 所在地：福島県福島市北沢又字成出 16-2
 診療科目：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、内分泌内科、腎臓内科、人工透析内科、アレルギー疾患内科、外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、整形外科、腫瘍外科、頭頸部外科、腹部外科、胆のう外科、胃外科、大腸外科、リウマチ科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科
 許可病床数：240床
 職員数：368名（正規職員）
 関連施設：複合施設ホリスティカまたは、社会福祉法人慈仁会 星風苑、介護付有料老人ホーム あいらの杜、介護付有料老人ホーム シャローム（2015年5月オープン）
 URL：http://www.daiichihosp.jp/